



やらまいか

クラブテーマ : Step Up 豊川宝飯～みんな仲良く～

会長/小田伊佐浩 幹事/石黒貴也 会報委員会/杉浦和人 原田浩史 館山紘介

例会場/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所 ☎0533-86-4101

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 ☎0533-86-2535 Fax0533-86-8889 Email:hoirc@sala.or.jp

本年度第4回 通算 1762回 2024年7月30日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/9 修正出席率
		71名	34名	55.7%	84.1%

ゲスト: 市内5高校 高校生20名、教諭5名 ※国府高校は zoom 参加 ビジター: (なし)

★会長あいさつ

小田伊佐浩会長



皆さん、こんにちは。災害級の暑さが続いています。特に高齢のメンバーの皆さんは気をつけて頂きたいと思います。若い高校生の

皆さんも暑い中ですので、健康管理、猛暑対策をしっかりやって頂きたいと思います。

本日は、ボラン・コラボ・穂の国7ということで、この会は2007年4月に発足して、2007-08年度の井指パスト会長の年度に本格的に始まったと伺っています。豊橋ゴールデンロータリークラブの協力のもと、2年近く準備をして17年前にできたそうです。今年で17年目なのですが、参加される高校生の皆さんは、それなりに新鮮ではないでしょうか。例会後に交流会もごさいます。今日は長くなりますが、活発な意見交換、有意義な時間になることを期待いたします。

先週7月23日の夜に、前年の太田年度の決算理事会がありました。改めて太田会長をはじめとする理事役員の皆様ほんとに1年間ご苦労様でした。また、同じ日の同じ会場で親睦委員会も行われ、秋の行楽についての委員会が開かれました。後ほど秋の行楽のPRがあると思いますので宜しくお願いします。

7月25日の木曜日にはゴルフ同好会幹事会が

ありました。本年度の幹事長は乙部会員です。ゴルフを通して1年間楽しい行事が出来ればと期待しております。

先ほど行われた理事役員会の報告事項です。今年度の指名委員会が設置されることが承認されました。第1回指名委員会は8月27日です。また、先週ご案内しました地区からの依頼のクラブアクションプランチャンピオンに樫山修一会員にお願いすることになり、ご本人の快諾も頂きました。

先週金曜日にパリオリンピックの開会式が行われました。ここ数回の開会式は、ハイテクノロジー式でみんながびっくりすると言うような開会式だったと思いますが、今年は、またちょっと趣きが変わって、選手入場がセーナ川で船で入場して、その間でレデーガガが登場したり、終わりには引退したと思っていたセリーヌ・ディオンが愛の賛歌を歌い、まるで映画を見ているような、今までとはまた違う開会式で驚きました。日本選手の活躍を毎日毎日感動致しております。寝不足というよりも、朝のハイライトで見るのが楽しみです。お休みだとゴルフ番組を見ようかなと思うとオリンピックをやっているといった感じです。オリンピックは4年に1回でございます。私ももう64歳を過ぎました。高校生の皆様はまだ何十回とオリンピック見れると思いますが、私はあと何回見れるのかなと言う思いで見えています。

今日は高校生の皆さんの元気いっぱいの発表をお願いし本日の挨拶をいたします。ありがとうございました。

★幹事報告

石黒貴也幹事

例会臨時変更のお知らせ
次回8月8日の納涼例会について
8月27日の指名委員会開催について

★委員会報告

親睦委員長 田中健司委員長
10月の秋の行楽開催について
乙部享祐会員
あがた夏祭り子供フェスティバル協賛のお願い

★青少年奉仕担当例会

委員長あいさつ

近藤利行委員長



皆さん、こんにちは。今日の例会を担当させていただきます。今日は地元の高校生の皆さんにボランティア活動の発表をして頂きます。発表を聞く中で、

こんなボランティアをやっているんだと発見があればと思っております。例会後には交流会があります。交流会の中で各高校の皆さんと交流を深めて頂いて、ボランティアの意を深めて頂ければ幸いです。本日は宜しくお祈いします。

活動費の贈呈



各学校のボランティア活動の発表

御津あおば高校



ただいまから御津あおば高校の発表を始めます。私たちの活動は大きく3つに分けられます。校内活動、校内ボランティア、校外

ボランティアです。それぞれの活動について詳しくご紹介させていただきます。

校内活躍についてご紹介します。私たち御津あおば高校生徒会は、毎週水曜日のお昼休みに RADIO MITO という校内放送を行っています。この活動は、生徒の皆さんに楽しい学校生活を送ってもらうことを目的としています。内容は多岐にわたり、最近の学校での出来事や季節の話題、そして生徒の皆さんからのリクエストに応じて選んだお勧めの曲の紹介などを行っています。さらに恋愛相談やお悩み相談のコーナーも設けており、生徒の皆さんの声に寄り添う放送を心掛けています。生徒の皆さんからの質問や悩みは、校内に設置されたリクエストボックスにて匿名で受け付けています。寄せられた質問に対しては、生徒会のメンバーができる限り役立つアドバイスを心掛けています。この活動を通じて多くの生徒から「楽しかった」という感想を頂いており、私たち生徒会メンバーもやりがいを感じています。今後もより多くの生徒の皆さんに楽しんでもらえるように内容の充実を図っていきたいと考えています。

学校内で行われているボランティア活動について紹介します。まず、ペットボトルキャップ回収の活動があります。この活動は環境保護と社会貢献を目的としています。昨年度は約 60 キロのキャップを回収することができました。これは約 30,000 個のキャップに相当し、ポリオワクチン約 38 人分に換算されます。本年度はこれを上回るべくより積極的に声掛けを行っています。次に中庭や畑の手入れ活動についてご紹介します。御津あおば高校には、多くの生徒や先生目の目に触れる場所に美しい中庭があります。その中庭の維持管理のため、生徒会執行部と御津ボランティアプロジェクト通称 MVP というグループが協力して、定期的に草取りや落ち葉拾いを行っています。活動は月に 1 回程度で毎回 20 名ほどの生徒が参加しています。参加者全員が積極的

に協力し合い和気あいあいとした雰囲気の中で作業に取り組んでいます。この活動を通じて学年を超えた生徒間の交流も深まっています。またロータリークラブの皆様のご協力により、花の植栽活動も実施しています。生徒会と MVP が協力して取り組むことで、より美しく魅力的な中庭づくりに努めています。今後もこの活動を継続し、生徒たちの間に自分たちの学校は自分たちの手で美しくすると言う意識を高めていきたいと思っています。

校外ボランティア活動についてご紹介します。4月21日には地域の神社で開催された祭りにボランティアとして参加しました。約15名の生徒が参加し、神輿を担ぐ体験や地域の歴史を学ぶなど貴重な経験をさせていただきました。当日はあいにくの雨天でしたが、町民の皆様の熱意により安全に配慮しながら餅投げも実施されました。私たちが餅を投げると言う貴重な体験をすることができ、地域の伝統行事に参加する喜びを感じました。6月2日には豊川リレーマラソンにボランティアとして参加し、10名の生徒がナンバーコール係を担当しました。この活動では、他校の高校生ボランティアの皆さんと交流する機会がありました。普段はあまり接点のない他校の生徒と親睦を深められた事は非常に貴重な経験となりました。その他にも豊川市役所から依頼のあったボラナビへの参加も積極的に行っています。28名の生徒が延べ88名のボランティアに申し込みました。今後もそれぞれのボランティアに参加していく予定です。また、社会福祉協議会主催青少年ボランティア体験学習にも3名が申し込み、夏休みの参加を予定しています。このように御津あおば高校はボランティアに関心がある生徒が多い学校であることを誇りに思います。以上で御津あおば高校の発表終わります。ご清聴ありがとうございました。

小坂井高校



小坂井高校の活動をさせていただきます。まずはボランティアについてです。小坂井高校の令和5年度の話ですが、総勢で74名が参加しました。参加した活動は、善意フェスティバル、豊川シティマラソン、とよかわボラナビ、保育士・保育教諭体験ボランティアです。

まずは善意フェスティバルについてです。これは豊橋善意銀行さんが主催で、5月28日豊橋動植物公園で行われました。続いて豊川シティマラソンについてです。これは皆さん知っていると思いますが、豊川で行われるマラソンで、小坂井高校はこのサポートをしています。

今後の校外活動については、小坂井葵まつり、クリーン大作戦をするつもりです。

次は生徒会活動です。生徒会からボランティアの参加や企画の応募をしました。学校内の企画は体育祭です。また、メインとなるはぐま祭を行いました。ボランティアの活動を通しては、地域の方との交流を学び自己実現や社会や地域に対する関心の向上、社会性や協調性の寛容などを学びました。これで終わります。

豊川高校



皆さん、こんにちは。豊川高校生徒会執行部です。今日は豊川高校で主に行っているボランティア活動のエコキャップ回収、地域清掃、供養塔

清掃について報告します。よろしくお願ひします。

初めにエコキャップ回収についてです。この活動は、生徒会執行部の常時活動として毎週月曜日の昼休みに各クラスの代議員と協力をして回収を行っています。前年度の後期生徒会執行部の間に集めたエコキャップの総重量は81.4キログラムです。これはおよそ1,032,560個分であり、代表的なワクチンであるポリオワクチン約22人分になります。私はエコキャップ回収を行っていく中で、ワクチンを必要としている人がいる限り、この活動を継続的に続けていくことが大切であると感じました。そしてエコキャップ回収以外のところでも何かできないかなと思いました。

次に地域清掃についてです。この活動は、豊川高校の最寄りの豊川駅や稲荷口駅、豊川稲荷公園と行った豊川高校生が下校時に多く使用する駅や道を清掃します。今回の地域清掃は雨天により中止となってしまいましたが、全校生徒に呼びかけたところ、一般参加の生徒以外では、インターアクトクラブや男子サッカー部、Eスポーツ部などたくさんの部活

動参加がありました。前回地域清掃実施した際には、清掃中に地域の方から声をかけていただくなど、地域からの評判が良く、達成感や充実感もとても多かったです。参加した生徒からは、「私は犬を2匹飼っているのですが、タバコやプラスチックゴミを散歩中に誤飲してしまわないか心配になりました。タバコは同じものを所々で見かけました。携帯灰皿を持ち歩くなどしてポイ捨てする人が減って欲しいです。機会があれば校外の地域清掃にも参加してみたいと思いました」と言った感想がありました。

次に供養塔清掃についてです。1945年8月7日豊川海軍工廠が空襲に遭い、2500人以上の方が命を落としてしまいました。私たち豊川高校の先輩6人もこの空襲で亡くなられており、8月7日は豊川高校にとって大切な日です。またこの日は毎年豊川高校の登校日となっており、校内で追悼式が行われます。戦後、この空襲で生き延びた海軍工廠の従業員や遺族の方々が中心となって八七会を設立し、戦没者の慰霊、工廠や空襲の語り継ぎなどを行ってきました。しかし2020年8月7日会員の高齢化のため、やむなく活動終了となってしまいました。私たち豊川高校生徒会執行部は、戦争の痛みを風化させないために、そして平和を未来につなげていくために何かできないかと話し合った結果、八七会の意志を受け継ぎ、供養塔清掃を続けていくことにしました。現在毎月7日の朝に供養塔清掃を行っています。生徒会執行部だけでなく、部活動やクラスからの参加もあり、少しずつ平和の輪が広がっています。またこの活動を通して地元の新報に掲載されたり、元八七会の方から感謝のお手紙をいただいたこともあり、地域とのつながりも感じられます。ここで供養塔清掃に参加した生徒の感想をお願いします。

私は、供養塔清掃活動に約1年間参加し続けてきました。最初は何も考えずに活動をしていました。しかし8月7日の追悼式に豊川海軍工廠での空襲の記録を聞かせていただき、家にいた時、空襲の警報が出て逃げるために麦畑に姿を隠した、空襲から逃げるのに必死で生き残ることしか考えられなかったなど体験した人しかわからないリアルな話を聞いて、戦争の怖さや平和の大切さを改めて感じる機会になりました。これからも豊川高校の伝統として供養塔清掃を続けて行くことで、空襲の歴史を風化させず、平和について考えることを忘れずに次の世代につなげていきたいです。ご清聴ありがとうございました。

宝陵高校



今から令和6年のボランティア活動の報告を始めます。まず初めに昨年度のエコキャップ活動について報告します。年に2回1週

間の活動期間を設けて16,942個ワクチン860個分のエコキャップを集めることができました。昨年度の赤い羽根募金活動では、合計8,334円を集めることができ、社会福祉協議会を通して赤い羽根に寄付することができました。

前期生徒会ではご覧の内容について活動を行いました。今年度は能登半島への募金を行い、3,809円を日本赤十字を通して募金することができました。

ボランティア活動についてお話ししたいと思います。参加したいボランティアを見つけるにはどうしたら良いか、STの時に担任の先生からボランティア活動の募集を聞いたり、教室に展示してある案内を見ると言う方法がほとんどです。ボランティア活動の申し込みは、担当の先生の所へ必ず本人が申し込みに行きます。申し込みを行う前に必ずすべき事は次の2点です。応募してから辞退は基本的にできないため、ボランティアの参加を保護者に相談したり、各学科や部活動の予定を確認する必要があります。ボランティア活動に参加する際に気を付けることとして、宝陵生として自覚ある行動、挨拶や礼儀、言葉遣いや態度、きちんとした服装、ボランティア先の方の指示をしっかりと聞く、遅刻欠席をしないということが大切です。服装については次の通りです。華美な服装や化粧、アクセサリー等は禁止です。ボランティア団体からの指定がある場合は、指定通りの服装、指定がない場合は体操服やジャージ等の動きやすい服装で参加します。宝陵生として、きちんとした身だしなみで活動しています。また、ボランティア活動の心得として、このようなことに気を付ける必要があります。

それでは今年度私たちがボランティア活動に参加した内容を1部ご紹介します。まず私たちがボランティア活動に参加した理由ですが、ボランティア活動に興味があった、たくさんの人と触れ合いたかった、いろんな体験をしてみたい、みんなの役に立ち社会貢献したいと改めて思ったからです。

これからボランティアの活動内容を見ていき

と思います。ボランティア活動とはどのような活動があるかを事前に皆さんにお聞きしたところ、市で行われるイベントの手伝い、施設のお祭りの手伝いと言う意見や、ゴミ拾いなどの清掃活動、募金活動などといった本校では生徒会が中心となっている活動も上がりました。今回は、上の段のボランティア活動の様子をお伝えします。スポーツをサポートする活動として、毎年恒例の豊川リレーマラソンが6月にありました。昨年は豊川市施行80周年としても多数の参加がありました。参加者の方に記念品をお渡ししたりしました。豊川青年団盆踊り大会のボランティア活動を行いました。ここ数年では、コロナ拡大や天候の影響で中止が続いていたようですが、当日は約60人の地域の皆さんが参加されました。途中で雷雨にみまわれたり不安定な天気でしたが、地域の方々とふれあいの場を盛り上げ、たくさんの笑顔を見ることができました。市民の皆さんとの盆踊りを通しての交流が思い出にもなり、また違うボランティア活動参加への気持ちが高まりました。えがおフェス2023は市内の市民活動団体や共同する企業が集まり、様々なブースを展開し活動紹介するイベントでした。SDGsをテーマとした体験ブースで、障害者施設の方々のお菓子の販売やリサイクルバザーに来られた親子連れの方々にリーフレットを配布したり、シールラリーの景品を渡し、たくさんの人に関わることができました。10月にウイズ豊川で開催された市内最大のボランティアの祭典ふれあいフェスティバルに参加しました。ステージの司会を経験しとても緊張しましたが、たくさんの人たちと関わりが持てました。また手話パフォーマンスで会場を盛り上げることもできました。たくさんの方々の地域の人たちと関わり、とても良い経験ができました。

紹介した活動以外にも、このような施設のボランティア活動に参加しています。私たちは、ボランティア活動を通して、地域の高齢者や障害者の方達と関わるだけでなく、幼児や学童期の子供たちとも関わる活動もしました。ひまわりキッチンでは主に小学校低学年の子を対象に見守りをしながら一緒にご飯を食べたり、レクリエーションや勉強などをしました。普段の生活では経験できないことを学ぶことができ、幅広い世代の人たちと関わることができました。これらの経験を今後も積み重ねて学びを深めることができるボランティア活動に参加していきたいと思います。

これまでいくつかの活動を紹介しましたが、ボラ

ンティア活動の特典についてお話しします。本校ではボランティア活動に3年間で10回以上参加すると、ボランティア功労者として表彰してもらえます。これからも積極的にボランティア活動に参加できるように取り組んでいきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

国府高校 zoom

今から国府高校前期生徒会の活動報告をします。私たちは、ゆうあいのボランティア、アイシティエコプロジェクト、ひょうたん池清掃ボランティア行いました。

5月にゆうあいの里でボランティア活動をしました。ここでは雑草取りを中心に行いました。暑い中での作業で苦勞も伴いましたが、解散する前に所長から「暑い中お疲れさまでした」と温かい言葉を頂き、やりがいを感じる事が出来ました。また10月にもゆうあいの里にてお祭りがあるので、そちらでも交流していく予定です。

アイシティエコプロジェクトとは、使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収し、リサイクルするプロジェクトの事です。リサイクルされたコンタクトレンズの空ケースは、色鉛筆やウチワ、Tシャツなどに再生され、CO2削減や高校単位での地域への呼びかけ、それに伴う地域の活性化などの効果があります。

最後にひょうたん池清掃ボランティアについてです。国府高校のひょうたん池は、80周年の記念事業で作られた3代目のものです。ひょうたん池のまわりでは、友達と昼食を食べたり、話して楽しむなど憩いの場として愛されています。今年は隣接している購買の改修工事を夏休み終了まで行っているため、まだボランティア活動ができていません。ですので、改修工事終了後の9月ごろから活動を行っています。内容としては、募集して集まった生徒でブラシを使って池掃除や金魚・鯉の餌やりを先生と協力して行っています。

この他にも、秋には岡田建設株式会社様と協力し、国道1号線の清掃美化活動も行う予定です。

これで国府高校前期生徒会の活動報告を終わります。

※豊川工科高校さんは欠席されました。

★ボラン・コラボ・穂の国7交流会

交流会テーマ

今までやったボランティアで印象に残っている活動

ディスカッションの発表

- ・個人的に参加しているボランティアは少ない
- ・テーマを掲げた清掃ボランティアは少なく、豊川高校の供養塔清掃は印象が深い
- ・地域の清掃や祭りにボランティで参加することで地域との関りが強くなり、新たな活動に繋がっていく
- ・募金活動をおこなっても、そのお金が実際にどのように使われているのか分からず、活動をしているという実感が無い
- ・文房具などを集めて発展途上国などに送る活動をしてみたい
- ・被災地に復興支援のために直接出かけた
- ・地域清掃など直接的に関わる活動をやりたい
- ・実感のある活動をする事で、参加した側と受ける側の充実感がある



★例会の様子が新聞に掲載されました。

文化・芸術・スポーツ

小田会長（左から2人目）と各高校の代表生徒ら
(豊川商工会議所で)

ボランティア活動を発表

豊川市内の高校生ら
取り組む 豊川宝飯RC例会で報告

ボランティア活動を行っている豊川市内の高校生たちが7月30日、豊川宝飯ロータリークラブ(RC)、小田伊佐浩会長との例会で活動発表を行った。

発表したのは、国「RADIO MITO」の府、小坂井、豊川、宝飯、御津あおほの高校5校。生徒会役員らが参加し、プロジェクターを使って報告した。国府の生徒会は、ズームで参加した。

御津あおほは、校内ボランティアの一環として、豊川海軍工廠(しよご)戦没者供養塔の

「RADIO MITO」の活動で「生徒の心に寄りそう放送を心がけている」と述べ、校外ボランティアでは「誇りを持って地域のボランティア活動に参加している」と報告した。

豊川の生徒会は、この元氣いっばいの発表を期待し、「有意義な交流を図りたい」とあいさつし、各高校に活動費を贈った。(上)星恵子

★ニコニコボックス

近藤利行会員 本日の例会を担当します

会報担当：杉浦和人・原田浩史・館山紘介